

相模原から全国行脚公演へ～相模原メイプルホールから日本各地での公演がはじまります～

四歳の石牟礼道子＝みっちゃんの胸に深く刻まれた
美しくも優しかった若き女郎**ぼんた**の刺殺事件

水俣病患者たちに生涯寄り添いつづけながら
魂の作品群を著しつづけた石牟礼道子の
四歳の自分＝みっちゃんを主人公にした
傑作自伝小説を、カリンパの音色と共に語って演じます

十六女郎

-じゅうろくじょうらう-

独演

椿の海の記

第三章・第四章より

原作 石牟礼道子

構成・演出・出演 井上弘久

作曲(不知火海のテーマ) 金子忍

わたしは
牡丹色に光るびらびら簪が
しゃらんと鳴って
畳の上に落ちる音をきいた
血の海の中にそれが浮くのをみた
(第四章「十六女郎」より)

INOUE
HIROHISA
井上弘久(1952)

俳優・演出家。相模原市千代田在住。
40年間続けてきた劇団活動に60歳でピリオドを打ち、
その後、文学作品をひとりで語って演じる独自のスタイルを創出。
プロダクション『町でいちばんの美女』『フジツバキ』『赤い糸』等、好評を得る。
石牟礼道子の『椿の海の記』に魅了されて、全一章の舞台化をやり遂げて後、
2021年より、その全国行脚公演に取り組んでいる。



第一部
田中優子さんのお話
～「十六女郎」をめぐる～(30分)

第二部
独演 十六女郎
～カリンパ弾語り編～(75分)

江戸文化研究家
法政大学名誉教授

2024 <相模原公演>

5月12日(日)

1回目 開場12:00 / 開演12:30

2回目 開場15:00 / 開演15:30

料金 事前予約 3,000円

MAPLE HALL

会場 予約問合せ：メイプルホール
神奈川県相模原市中央区千代田2-2-15-B1F
042-751-5011 maple.sagamihara@gmail.com

主催：井上弘久事務所
共催：メイプルホール
協力：ふちのべ演劇くらぶ



舞台写真：スズキマサミ 独演『椿の海の記』公式サイト <https://www.tsubaki-dokuen.com>

